

## 令和8年度中堅企業支援セミナー開催のご案内

共催：広島市工業技術センター

下記の通り、一般社団法人軽金属学会中国四国支部 令和8年度中堅企業支援セミナーを開催致します。  
温室効果ガスによる地球温暖化に対応するため、自動車産業ではCO<sub>2</sub>削減に向け、車両の軽量化が図られており、アルミニウム合金やマグネシウム合金などの軽金属の適用が進められ、需要が増大しています。

そこで、本セミナーでは、軽金属の需要増大に伴い生じるリサイクル技術を取り上げます。軽金属学会会員に限らず、異業種分野の皆様の参加も歓迎致します。多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

一般社団法人軽金属学会中国四国支部  
支部長 田中 康弘

日 時：令和8年12月21日（月）14：00～16：30

場 所：広島市工業技術センター（広島市中区千田町3丁目-8-24）<https://www.itc.city.hiroshima.jp/>

プログラム

14：00～14：10 開会の挨拶 支部長 田中 康弘

14：10～15：10 講演①「サーキュラーエコノミーならびにカーボンニュートラル社会実現に向けた  
アルミニウムアップグレードリサイクルの重要性」

東京科学大学 熊井 真次 氏

他の金属に比べてアルミニウムスラップのリサイクルは進んでいるものの、現状ではカスケードリサイクルが主体である。アルミニウムとその合金をカーボンニュートラル社会実現のみならずサーキュラーエコノミーシステム構築にも役立つ「真のリサイクルの優等生」にするためには、これまで以上に展伸材製品の水平リサイクルを促進するとともに、アップグレードリサイクルの実現により低品位スクラップによる高品位製品製造を可能にして、アルミニウム資源の国内循環を図ることが重要である。本講演では、現在行われている取り組みについて、プロセス技術の開発を中心に紹介する。

15：10～15：30 休 憩

15：30～16：30 講演②「CO<sub>2</sub>削減に貢献するマグネシウム合金の循環利用技術と高機能合金開発」

日本マテリアル(株) 橋本 嘉昭 氏

環境負荷の低いチクソモールド工法用マグネシウム合金チップを国内で初めて市場投入した企業として、CO<sub>2</sub>排出量削減に関するマグネシウム合金の研究事例を報告するとともに、リサイクル精錬およびリサイクル性を最優先とした合金設計思想に基づき、希少元素代替合金の開発事例や新たなリサイクル技術について報告する。また、産業界の視点からマグネシウム合金の持続可能な資源循環の実現に向けた方向性を紹介する。

### 【申込み・お問合せ】

広島工業大学 工学部 機械情報工学科 日野 実

〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学 工学部 機械情報工学科内

Tel & Fax：082-921-4454（日野 実） E-mail：m.hino.j3@cc.it-hiroshima.ac.jp

申込締切：12月16日(水)